

くまもと市議会だより

いちよう



<http://kumamoto-shigikai.jp/>
熊本市議会 検索

<http://www.facebook.com/kumamoto.shigikai>
熊本市議会公式 facebook 検索



天守閣から見た宇土櫓 写真提供:島津哲也 議会広報委員

令和3年 第4回定例会の概要

11/29～12/17 会期19日間

- 11月29日 本会議
・開会 ・提案理由説明
- 12月1日～3日、6日～7日 本会議
・一般質問(5日間)
12月1日 予算決算委員会理事会
12月6日 議会運営委員会
- 12月9日 予算決算委員会分科会、部門別常任委員会
- 12月15日 予算決算委員会
・分科会長報告、締めくくり質疑、表決
12月15日 議会活性化検討会
12月16日 大都市税財政制度・都市問題等特別委員会
議会運営委員会
- 12月17日 本会議
・委員長報告 ・質疑、討論、表決 ・閉会

提出議案と議決結果

市長提出議案 73件 … 原案どおり可決73件、否決0件
議員提出議案 2件 … 原案どおり可決 2件、否決0件
請 願 0件

主な議案の概要

- 令和3年度熊本市一般会計補正予算
総額132億8,302万円(減額補正予算含む)
<新型コロナウイルス関連分の主な内容>
 - 子育て世帯等臨時特別支援事業(先行給付金) ……62億8,300万円
 - 子育て世帯等臨時特別支援事業…61億9,500万円
 - 人件費(時間外勤務手当) ……3億9,000万円
 - 新型コロナウイルスワクチン接種経費 ……2億9,800万円
 - 感染防止対策経費(児童看護施設等)…3,280万円<通常分の主な内容>
 - 農地等災害復旧経費…4,152万円
 - 地方創生移住支援事業…1,560万円

●…民生費	●…総務費	●…衛生費
●…災害復旧費	●…商工費	
- 住居表示の実施による町名変更に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
住居表示の実施による町名変更に伴い、関係条例の整備をするため。

<制定内容>

住居表示の実施による町名変更に伴い、次に掲げる条例の一部改正を行う。

- (1) 熊本市消防本部及び消防署の設置等に関する条例(昭和39年条例第48号)
- (2) 熊本市区の設置等に関する条例(平成23年条例第61号)

※ 住居表示の実施による町名変更

【変更前】十禅寺町、世安町(一部)

【変更後】十禅寺四丁目、世安一丁目、世安二丁目、世安三丁目

<施行日>

公布の日

○熊本市自転車駐車場条例の一部改正について

植木駅自転車駐車場を新設等のため。

<改正内容>

- 1 自転車駐車場の新設
(1) 名称 熊本市植木駅自転車駐車場
(2) 位置 熊本市北区植木町荻迫62番地8
- 2 引用条項の整備

<施行日>

改正内容1 → 規則で定める日

改正内容2 → 公布の日

令和4年 第1回定例会は、2月16日(水)～3月24日(木)

詳しい会議日程は熊本市議会ホームページをご覧ください。



一般質問

※新型コロナウイルス感染症への取り組みとして、壇上にアクリル板を設置するとともに、マスク着用の上、質問を行いました。

市民連合



島津 哲也議員

質問 1

衆院選のミスや投票率向上への取り組み

政令市における投票用紙の交付ミス発生件数は。また、今回の選挙で投票率向上のための独自の取り組みは。

答弁

投票用紙の交付ミス件数は、本市も含め14市23件。市内の高校及び大学計38校にチラシとポスターの掲示を依頼し若年層に周知を図った。



質問 2

カーボンニュートラル(※1)の積極的な推進を

本市における2050年カーボンニュートラルに向けての再生可能エネルギーの普及や省エネルギーの取り組みは。

答弁

率先して再エネの導入などに取り組むと共に、多様な関係者と連携を図りながら、脱炭素社会の実現に向け、積極的に取り組む。

熊本自民



高本 一臣議員

質問 1

賃金を引き上げる本市の経済環境の取り組み

大手半導体メーカーの進出は賃金引き上げや、経済面全般に大きく寄与すると捉えているが、本市の取り組みは。

答弁

人材の確保や進出環境の整備など、庁内横断的なプロジェクトを検討しており、県などと連携して円滑な進出を支援していく。

質問 2

虫歯政令市ワーストの課題と対策

幼児期、学童期世代の「虫歯罹患率」がワーストとなっているが、課題解決に向けての対策は。

答弁

健康くまもと21推進会議の歯科保健部会で子どもの虫歯対策について集中審議を行うなど、子どもの虫歯予防の強化に取り組む。



自民党



寺本 義勝議員

質問 1

集落内開発制度の見直しについて

見直しに伴う関係市民への説明会で市民から出された意見や要望をどの様に受け止めておられるのか。

答弁

説明会での地域の声は切実なものと認識している。運用については、法改正の趣旨を踏まえて、県と調整を図りながら検討していく。

質問 2

農業振興地域整備計画の見直しについて

国県道沿線やスマートインター周辺を開発可能とする制度はどうなっているのか。また、見直しでどう配慮するのか。

答弁

平成13年以降に合併した地域が制度の対象となっている。周辺の農業の状況を踏まえつつ、法の趣旨に沿って適正に判断していく。



公明党



藤永 弘議員

質問 1

アルコール依存症対策(スクリーニングテスト(※2))の推進

飲酒運転根絶には職員のアルコール依存症対策が必要。定期的なスクリーニングテストを行うてはどうか。

答弁

アルコール摂取に関する自覚を促すとともに実態を把握する手段としてスクリーニングテストは有効であり、速やかに着手する。



質問 2

火葬場(斎場)に予約システムの導入を

本市が予約システムを導入することで、家族の方や葬儀社だけでなく、火葬場(斎場)の運営もスムーズになるのでは。

答弁

予約システムの導入は、市民の利便性向上や斎場運営効率化などが期待できるため、先行都市の事例を研究し導入に向け取り組む。

共産党



上野美恵子議員

質問 1

自分らしく生きられるジェンダー(※3)平等社会を

男女賃金格差の実態把握、市女性職員の非正規解消・管理職登用推進、ジェンダー平等条例・基本計画の策定を。

答弁

市内の事業所を対象とする実態調査で、男女賃金格差を把握する。職場環境改善などに取り組み、より一層の女性管理職登用に努める。



質問 2

庁舎整備有識者会議・耐震分科会は「公開」を

庁舎整備有識者会議・耐震性能分科会の非公開をやめ、委員全員(3人)が同じ大学関係者という選任の是非を。

答弁

分科会の運営については、分科会において決定いただくべきものであり、その判断を尊重したいと考えている。

無所属議員



北川 哉議員

質問 1

食の流通や安定供給への取り組み

卸売市場は食の流通を担う大きな役割を持っている。本市の食の流通や今後の安定供給についての見解は。

答弁

市場は食の安定供給の重要な役割と認識。今後の安定供給に関しては関係者の意見を聞きながら市場を所管する県と連携していく。



質問 2

学校改革での教育現場と教育長の意思

教育関係者などからは不安の声がある学校改革について、課題の認識、改善策や今後の対応をどう考えるのか。

答弁

改革の進め方などへの共通理解が十分でないことが課題と考えており、全校長との意見交換の機会を設けるなど、連携を強化している。

市民連合



上田 芳裕議員

質問 1

ウィズコロナを踏まえた地域経済浮揚の取り組み

自粛・人流抑制が続いた地域経済の浮揚に向け、県内やオール九州と連携した観光誘致の取り組みは。

答弁

共同制作したPR動画を活用し、世界マスターズ水泳選手権開催に向けた情報発信など、九州各都市と連携した取り組みを強化していく。

質問 2

透析排水処理の現状と課題

人工透析患者の割合が高い本市の透析排水処理について、上下水道局で適正な検査体制が行われているのか。

答弁

本年度末までに透析医療機関、全34施設を立入調査予定。今後は5年に1回以上の立入調査と中和装置設置を積極的に働きかける予定。



おしえて ひごまる

カーボンニュートラル(※1)……二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量と、植林や森林管理などによる吸収量を均衡させること。2020年10月、国は2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言した。

スクリーニングテスト(※2)……迅速に結果が得られる簡便な検査を行うことによって、集団の中から特定の病気が疑われる人を選び出すこと。この答弁では、アルコール依存症について、危険又は有害な飲酒レベルにある人かどうかを判定するための簡易なテストのこと。

ジェンダー(※3)……生物学的性別に対して、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」のような男女の別を示す概念である。

熊本自民


山本 浩之議員

質問 1 地方の「伸び代」を生かす取り組み
 国が示す地方経済の活性化に資する政策について、本市におけるデジタル分野の取り組みは。

質問 2 花畑広場完成によるウォーカブル都市※5の推進
 花畑広場の整備完成は、ウォーカブル都市への実現に向け、どのような波及効果をもたらすのか。

回答 1 スマートシティの実現に向けた取り組みや行政手続きのオンライン化、MaaS※4の実現に向けた検討など、デジタル技術を活用した取り組みを加速化していく。

回答 2 中心市街地においてにぎわいを生み出し、その魅力を高めることで、居心地が良く歩いて楽しめる都市の実現につなげていく。



自民党


小佐井賀瑞宜議員

質問 1 マスクの適切な使用について
 過剰なマスク着用被害から子どもを守るため場面に応じた適切な使用方法を推奨すべきと思うがその方策を問う。

質問 2 同調圧力防止のために基本条例の制定を
 国民の認識違いによるワクチン差別などの発生状況に鑑み被害者救済策として差別防止条例を制定しては如何か。

回答 1 文科省のマニュアルでは場面に応じたマスクの使用方法が示されており、医科学的知見を含め、その内容を学校に正確に伝えていく。

回答 2 感染症に関する不当な差別などの問題は、広域的な行政課題であり、熊本県とも条例制定の有効性について協議を行っていく。



公明党

三森 至加議員

質問 1 糖原病※6を患う児童に対するサポート支援
 全国で約1,200人しかいない糖原病を患う子どもに対して、教育委員会や学校の支援体制は。

質問 2 熊本市におけるデジタル人材育成の取り組み
 熊本市地域雇用創造協議会を設立。企業向けのセミナーやICT利活用人材を育成し、雇用創出に取り組んだ効果は。

回答 1 看護師資格を有する学級支援員の配置などを行っており、今後は関係機関との連携やICTを活用した教育の提供など、支援の充実を図る。

回答 2 ICT分野の知識や技術修得を目的とした研修を行うと共に、セミナー受講企業などとのマッチングを行い、31名の就労につながった。



市民連合

山内 勝志議員

質問 1 コロナ後遺症の相談窓口の設置へ
 倦怠感や息苦しさ、脱毛などの後遺症に悩む市民へ、受診医療機関の紹介や症状不安の相談を受ける窓口が必要。

質問 2 市立総合ビジネス専門学校改革について
 ビジネス支援を行う「森都心プラザ」に市立ビジネス専門学校のサテライト教室を開き、ビジネスの実地修練の場にしてはどうか。

回答 1 医療的な支援体制や、周囲の理解に向けた啓発など、他都市も参考に、医療機関などと連携し、必要な支援について検討を行う。

回答 2 起業家との交流などにより、生徒の育成や教員の指導力向上に資すると考えられ、関係部局との協議の中で設置についても検討する。



熊本自民


田中 敦朗議員

質問 1 令和時代の新たな市庁舎の考え方
 ICT、民間テナント、市有資産、PFI※7を駆使し、一極集中から脱却を図り、新たな時代の市役所像を描くべきではないか。

質問 2 市民サービスの向上へごみ収集の見直しを
 ごみ収集体制を見直し、市民サービスの向上や持続可能な社会に近づく政策を手厚くしていくべきではないか。

回答 1 本庁舎等整備の在り方に関する有識者会議において、新たな手法、発想も含め、さまざまな観点から審議いただきたいと考えている。

回答 2 ごみ出しに伴う利便性の向上と効率的な収集体制確立の両立に向けて課題を整理しながら、あるべき姿を模索していく。



公明党


伊藤 和仁議員

質問 1 教育ICTを活用したオンライン学習支援校の方向性
 オンライン学習支援校は、不登校児の社会的自立支援に画期的な取り組みである。今後の事業展開や方向性は。

質問 2 ネットワーク型療育支援システム構築の課題
 通所事業所などの課題解決や事業所間ネットワークの構築は急務。児童発達支援センター機能強化事業の現状は。

回答 1 児童生徒の参加を促す周知、参加者の意欲向上のための工夫などを行うほか、学習支援員の増員やスタジオの増設などについて検討する。

回答 2 南区と東区の障害児通所支援事業所の活動状況を把握し、抽出した課題に応じた研修会を企画するなど、情報共有の場を作っている。



市民連合


西岡 誠也議員

質問 1 いじめ防止対策のためのスクールロイヤー※8活用
 弁護士の専門的知識・経験に基づき、学校における法的側面からのいじめ予防教育を行ってはどうか。

質問 2 空き家を市営住宅として活用しては
 市営住宅は削減計画もあり、エレベーターがない高層階は入居申し込みが少ない。空き家を市営住宅に活用できないか。

回答 1 現在、弁護士資格を有する任期付き正規職員の採用準備を行っており、配置によって法的側面からのいじめの予防教育を推進したい。

回答 2 現時点で空き家の市営住宅利用は想定していないが、ニーズに対応できない場合などを想定し、他都市の状況なども含め検討する。



MaaS※4).....地域住民や旅行者の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済などを一括で行うサービス。
 ウォーカブル都市※5).....まちなかが車中心から人中心の空間へと転換され、人々が集い、憩い、多様な活動ができる昼も夜も歩いて楽しめる都市。
 糖原病※6).....糖原病の「糖原」とはグリコーゲンのこと。グリコーゲンが合成、分解される経路が先天性に障害される病気。
 PFI※7).....(Private Finance Initiative:プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)の略称。公共施設等の建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法のこと。
 スクールロイヤー※8).....学校で発生するさまざまな問題について、子どもの最善の利益を念頭に置きつつ、教育や福祉などの視点を取り入れながら、法的観点から継続的に学校に助言を行う弁護士。

分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

総務

●コロナ禍における適切な執行体制の確保について

今後、業務量が増えると想定される新型コロナウイルス感染症などへの対応については、全庁的な事務事業の見直しを行うなど人員不足とならないよう適切な執行体制の確保に努めてもらいたい。



●女性消防団員の加入促進について

役割が多様化する本市消防団において、女性消防団員の役割は非常に重要であることから、女性消防団員が活躍しやすい環境づくりに努めるとともに、加入促進に向け取り組んでもらいたい。

教育市民

●特別支援学級の設置について

保護者などの要望数に対する設置数が少ないと思うので、要望に沿えるよう取り組んでもらいたい。

●指定管理者の指定について

指定管理者における被雇用者の適切な処遇を確保するため、本市の積算基準に基づく適正な賃金水準かどうか確認できる仕組みを検討してもらいたい。



厚生

●5歳から11歳までの新型コロナウイルスワクチン接種について

慎重な接種判断がなされるよう、ホームページにおいて、これまでの新型コロナウイルス感染症に関するあらゆる情報と合わせ、年代別の重篤者数や死亡者数など、ワクチン接種後の副反応に関する詳細な情報の公開を求めたい。

●就労系障害福祉サービス等機能強化事業について

事業所への助成額については、一律ではなく、事業規模に応じた助成額を検討してもらいたい。



環境水道

●市有施設のLED化について

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている地元事業者を可能な限り活用するよう努めてもらいたい。



●配水管推進工事の施工について

市民生活に支障が生じないよう、引き続き、道路の陥没事故防止対策に万全を期してもらいたい。

経済

●地方創生移住支援事業について

コロナ禍での東京圏から本市への移住機運の高まりを好機と捉え、移住者に対し、情報収集と傾向分析を行い、今後の移住支援事業の拡大に向け取り組んでもらいたい。

●世界マスターズ水泳選手権開催経費について

水球競技の本市開催を契機とし、子どもたちが水球にふれあえる機会を創出することにより、競技人口の増加につながるよう鋭意取り組んでもらいたい。



都市整備

●グリーンスローモビリティ走行社会実験業務について

まちなかの新たな移動手段として、回遊性向上や高齢者等の観光地への円滑な移動に効果が期待されることから、市民への積極的な周知を行うとともに、事業化に向けて鋭意取り組んでもらいたい。



●道路路面の清掃等維持管理について

街路樹の落ち葉の清掃が行き届いていないなどのケースが見られることから、街路樹の種類や落葉期など、それぞれの状況に応じた、適切で効率的な道路管理を求めたい。

予算決算委員会の審査概要

全議員で構成する当委員会で、令和3年度補正予算及び関連議案について審査を行いました。質疑の詳細は、熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

締めくくり質疑 (12月15日)

令和3年度熊本市一般会計補正予算

- 時間外勤務手当の増額補正について
- 小児への新型コロナウイルスワクチン接種について
- 市有施設のLED化について
- 子育て世帯に対する臨時特別支援事業について

可決された意見書

市議会では、国会または関係行政庁に意見書を提出することで、議会としての意思を表明します。第4回定例会では、1件の意見書が可決されました。

発議第19号

国産ワクチンの早期承認とワクチン及び経口薬開発体制の強化を求める意見書について

主な議決結果

各議員の賛否については、熊本市議会ホームページの議員名簿をご覧ください。

議案番号・件名	熊本自民	自民党	公明党	市民連合	共産党	無所属議員	議決結果
議第298号 令和3年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○ ○ ○	可決
議第310号 住居表示の実施による町名変更に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○ ○ ○	可決
議第313号 熊本市自転車駐車場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○ ○ ○	可決
議第363号 令和3年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○ ○ ○	可決
議第365号 令和3年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○ ○ ○	可決

編集後記

議会広報委員会 (10名)



三森至加委員長 山本浩之副委員長 田中敦朗委員 光永邦保委員 吉村健治委員
齊藤博委員 高瀬千鶴子委員 島津哲也委員 荒川慎太郎委員 古川智子委員

今期の広報委員会は、これまでにない新たな取り組みに挑戦しています。今後も、限られた紙面ではありますが、より市民の皆さんに目を通していただけるように、進化させていきたいと考えていますので、ご意見ご要望等がありましたらお気軽に議会局までご連絡下さい。今号も読者の声を反映させていただいています。

田中 敦朗 議会広報委員

発行／熊本市議会
編集・文責／熊本市議会広報委員会

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号
TEL. 096-328-2684(議会局政策調査課)
FAX. 096-324-3284 第41号

電子メール
gikaiseisakuchousa@city.kumamoto.lg.jp